



文教大学教育研究所
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島 3337
Tel. 048-974-8811

教育研究所 ニュース

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>

2024. 11 第53号

- 巻頭言
- 世界の教科書展
「ベトナムの教科書」
- 海外の教科書所蔵一覧
- 桶川市〈世界の教科書
巡回展〉のお知らせ
- 2024 年度「定例研究会」
「文教大学の授業」

自由にして創意に富める活動を促進し実現する教育計画を師弟協働のもと創る

文教大学教育研究所 研修部主任 小 幡 肇

あるラジオ番組で、数々の賞を受賞した映画監督デビッド・リンチの話聞いた。「人は内面に大きな海をもっており、小さな魚を得るには浅く潜ればよい、大きな魚を得るには深く潜る必要がある。そのために、自身のクリエイティビティを発揮することが大切である」といった話である。そして、彼は、もっと意識の深淵まで行くにはどうすればよいのだろうと考え、超越瞑想（TM）に出会い、超越瞑想を通して、知性・創造性・愛といったことが拡大していったという話である。

それを教育において言い換えると、教師が、子どもが、それぞれ、自身のクリエイティビティを発揮し、自身を見つめ、自身の意識の深淵まで行くことによって、学びが深くなるということだろう。そして、自身の知性・創造性・愛といったことが拡大していくということになるのだろう。

そのような深さに関連して、戦後、文部省で社会科を創設し、奈良女子大学附属小学校主事を務めた重松鷹泰は、教育計画の広さ・深さについて、次のように述べる。教育計画の広さ・深さは、「その教育計画の包容性乃至流通性ともいうべきもの」であって、「どれほどその教師の自由にして創意に富める活動を促進し実現せしめ得るかということである」。そして、「廣い教育計画は同時に深さをとめない、深い教育計画は廣い豊かな自由を与えるのである」と述べる。

さらに、「人間として強い人間を育てる」こということを教育目標とする奈良女子大学附属の教育計画について、次のように述べる。「歯をくいしばってばかりいるような雰囲気の中では」目標を達成することはできない。「全体としては、生き抜いていくことに伴う喜びが充ち充ちているものである」。そして、そのような楽しい雰囲気は、「自由が与えられ実現される」こと、「精神的な自由が実現する」こと、「安定した秩序が存在する」ことによって作りだせると指摘する。

今日、日本の教育においては、主体的・対話的で深い学びの実現ということを目指している。

そこで、深い学びの実現に向けて、次のようなことを提言したい。第一に、生き抜いていることに伴う喜びに充ちた楽しい雰囲気の中、自由が実現し、それを支える秩序が存在する学校づくりを基盤とする。第二に、教師が、子どもが、それぞれ、自由にして創意に富める活動を促進し実現する教育計画を師弟協働のもと創ることを大切にする。第三に、教師が、子どもが、それぞれ、自身のクリエイティビティを発揮し、自身を見つめ、自身の意識の深淵まで行く学習過程を歩むことを重要視する。

結果、以上のような教育が実現することは、ひいてはSDGs「4 質の高い教育をみんなに」が実現することにつながると思う。

2024年度「世界の教科書展」 特集 ベトナムの教科書

2024年11月2日(土)から4日(月・祝日)
藍夢祭参加 8202 教室

今回で30回目を迎えた「世界の教科書展」は、教育研究所の特色ある取り組みのひとつである。各回のテーマとなる国や地域の教科書を展示し、その地域の概要や教育制度も紹介してきた。学内関係者だけでなく、学外からの来場者も多く、教科書展は教育の国際比較について語る場となっている。

コロナ禍では、来場者の健康と安全を最優先するため、実施を見送った年もあった。その後、オンライン(オンデマンド)開催を経て、「ウィズ・コロナ」での教科書展に新しい可能性を見出すとともに、教科書展を持続可能な形で開催するための経験を積むことができた。

昨年度から復活した対面での開催であるが、(コロナ前までは当たり前であった)教科書を手に取り、来場者同士で意見交換をすることの有難みを実感する。今回のテーマは「特集：ベトナムの教科書」である。ベトナムの教科書の実物展示、およびパネル解説を行った。日本とベトナムは、2023年9月に外交関係樹立50周年を迎えた。街でもベトナム出身の人々をよく見かけるようになった。そのことは法務省の統計にもあらわれている。2024年6月時点の在留外国人数に関する出入国在留管理庁の発表によると、ベトナムが2位となっている(1位は中国、3位は韓国)。日本とベトナムの関係は市民レベルでますます深まっている。ベトナムの教育について知ることは、「多文化共生」の在り方を真剣に考えていかなければならない日本にとって意義あるものと考えている。

教科書は、次世代を担う子どもの教育を映し出すものである。「世界の教科書展」は、各地の教育の現状を比較検討した成果発表の場とも言える。これまでの伝統を踏まえつつ、「ウィズ・コロナ」に対応し進化し続ける教科書展を今後も維持し発展させていきたい。

(研究部主任 山川 智子)

～今までに開催した教科書展ポスター～



皆さん、文教大学教育研究所を知っていますか？

越谷キャンパスの文化祭(藍夢祭)の期間中に《世界の教科書展》を開催しているのが教育研究所です。教育研究所には33か国の教科書、約10,000冊が所蔵されています。世界の教科書に興味があり、実際に触れてみたいという方は、ぜひ足を運んで下さい。

【10号館2階：月曜日～金曜日 / 9時～14時】

教育研究所所蔵の 海外の教科書

教育研究所では 1991 年の創設時より海外の小学校・中学校教科書を収集している。これまでに収集した小学校教科書の内訳は下表のとおりである。また、2017 年度には公益財団法人モラロジー研究所から海外 18 か国 7,249 冊の教科書を受贈し、本研究所が所蔵している世界の教科書コレクションは 33 か国 10,293 冊となった。

研究部ではこれらの教科書をもとに各国の教育制度や教育事情を研究し、その成果を「世界の

教科書展」において毎年発表している。今年度は、ベトナムの教科書を集集し、教科書実物を手に取ってご覧いただいた。

海外の教科書を収集・保管する学術機関は少なく、またそれらの購入も容易ではないため、ここ数年ではマスコミをはじめとする各方面からの問い合わせや取材申し込みが増えており、貴重な資料として注目されている。海外の教科書については、貸し出しはおこなっていないが、研究所での閲覧は自由であるため、ご覧になりたい方は教育研究所（10 号館 2 階）までご連絡のうえ、お気軽にお越し頂きたい。（程塚 聡美）

小学校 (2024/10/31現在)	国語	社会	算数	理科	生活科	総合科	音楽	美術	体育・健	実科	英語	日本語	宗道教徳	情報	国際理解	その他	計
アメリカ	42	16	46	8		5										3	120
イギリス	20	12	8	12										10			62
イタリア	30	16	16	7		7		3			18		7			23	127
インド	141		5			10			7				9	15			187
エジプト	19	9	10	6	20						16		20				100
インドネシア	6	12	6	6				6	2		6		6			6	56
オーストラリア	60	7	23	18				6	10	6		3	3		1	7	144
オランダ	2	3	6	6							1					2	20
韓国	26	14	23	16	10		4	4	8	2	6		10			8	131
ケニア				3													3
シンガポール			23	13					6		5						47
スイス	2		1														3
スペイン	6	4	6	6		4					6		7	2		1	42
スリランカ	7		5								6		6				24
タイ	12	6	7	6	1	1		2	6	6	6					6	59
台湾	21	14	22	14	6	20		22	21		20						160
中国	10	11	16	15			6	5			44		6			1	114
ドイツ	8		11		20	4	2	3			17		3				68
トルコ	10	10	9	2	5		6				15		9	1		12	79
バングラディシュ	5		3								1					3	12
フィンランド	28	7	26	18							13						92
ブラジル	10	9	9	9				5			5		11			6	64
フランス		10	7								20						37
ベトナム	14	3	8	6	3		5	5	3	2			4			2	55
ポーランド	1		1	1													3
マレーシア	36	6	33	22	7		3	5	15	3	33		24	3		15	205
ラオス	10		10		10			5	5		6					5	51
ロシア	51	1	27	3	26	0	4	9	4	11	36	0	0	7		3	182
計	577	170	367	197	108	51	30	80	87	30	280	3	125	38	1	103	2,247

桶川における
「＜世界の教科書＞巡回展」

2024 年 12 月 7 日～12 月 8 日
「OKEGAWA hon+」
(桶川駅西口駅前桶川マイン 3 階)

教育研究所は「教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献」を理念に掲げ、様々な研究活動を行っている。その活動の一つに越谷学園祭（藍蔘祭）で開催される「世界の教科書展」がある。2016 年度からは地域貢献の一環として、桶川市でも巡回展を開催している。今年度は東京あだちキャンパスでも開催した。

コロナ禍に見舞われた2020年度は教科書展の開催を見合わせたが、2021～2022年度は「ウィズ・コロナ」での教科書展を模索し、オンライン(オンデマンド)で開催した。手にした教科書のページを捲ることのできるコロナ前までの教科書展は、2023年度に再開した。

2020 年度の中断をはさみ今年で 8 回目となる巡回展は、「OKEGAWA hon+」(桶川駅西口・桶川マイン 3 階)にて、12 月 4 日(水)～12 月 11 日(月)に開催予定である。テーマはベトナムの教科書である。FPT 大学のラム先生にご協力いただき、教科書の翻訳パネルを用意することができた。

教科書の実物は、12 月 7 日～8 日に展示される。12 月 8 日(日)には、ベトナムで日本語教育を経験した方によるレクチャーも行われる予定である。ベトナムの現状や教育について、桶川周辺の地域の方たちと情報共有していきたい。

大学と地域との連携で教育を考えていくにあたり、国際比較は重要である。その一環として、地域の方たちに教育研究所の活動を紹介する機会となればと願っている。

(研究部主任 山川 智子)

「定例研究会」発表一覧

第105回 8月10日(金)13:00～15:30

・多文化共生社会の創造に向けた生涯学習の在り方
阪本 陽子

・教員が学び続けるための環境構築
塚原 元気

・性別に違和感をもつ児童生徒に対応する学校組織づくりの実践報告
松嶋 淑恵

・教員の専門性や教員の専門職性に関する他職間比較研究 — “教育保育” の概念の差異に着目して—
大西 健介

第106回 11月 2日(土)13:00～16:00

・ビブリオバトルの多様な実践の在り方について
—保育の質を高め、キャリアをつないでいくための実践を探る—
綾 牧子

・基礎教育の保障とその課題
矢作 由美子

・小学校英語教育をクリティカルに捉える試み
—「豊かな話者」としての学級担任—
大石 海

・米国のエスニック博物館創設の意義：カリフォルニア州の事例に焦点を当てて
丸山 悦子

第107回 3月 8日(土)13:00～15:00

・豊かなかわり合いの中で、今と未来にいきる
—自分が好き、ひとが好き、運動が好き—
清水 香保里

・公立小学校内における多世代・異文化をベースとした居場所づくり(仮)
中川 真規子

・就学前教育と小学校教育とのカリキュラム接続の研究
梨子 千代美

・特別支援教育における食農教育の研究Ⅱ
木場 雪香

2024 年度
『文教大学の授業』執筆者紹介

第88号 教育学部 長島 雅裕 先生(既刊)

第89号 国際学部 阿野 幸一 先生(既刊)

第90号 文学部 グラハム児夢 先生(既刊)

第91号 情報学部 奥村 真司 先生

2024年度 教育研究所スタッフ

所 長	手嶋 将博		
研究部主任	山川 智子	研修部主任	小幡 肇
事務	河川 恭子(春)	程塚 聡美(秋)	